



【SAB -CAM720】

サブロクシステム アラウンドシステム

取付使用説明書 ver3.04

販売店様へ

作業終了後に必ず本書をお客様にお渡しください。



について

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。

適合についてご注意

以下の車両へは取り付けできない場合があります。

ご購入前に必ずご確認ください。

※モニターシステムがない車両。

※メーカーオプションのナビゲーションモニター

およびカメラシステム装着車

※字光式ナンバー装着車

※エアロパーツ等を取り付けている車両

※極端に車高が低い車両

※取付スペースのない車両

安全にお使いいただくために必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本システムは4つのカメラにより撮影された映像を合成して、画面上に車両上方から見た状態を模した映像を表示させることで、運転を補助する装置です。

配線・取り付けに関して

DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。取り付け・アース接続には、ハンドルブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。助手席エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。走行前にカメラの取り付け状態、ネジの緩みがないか点検してください。事故の原因になります。コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。カメラの取り付け作業を行うとき、カメラの取り付け状態を点検するときなどは、車を平坦で安全なところに停めて必ずエンジンを切り、サイドブレーキを確実に引いた状態で行ってください。事故の原因になります。前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事

故・ケガの原因になります。ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切り子や破片が入らないように保護をしてください。

ご使用に関して⚠

●サブロクシステムは、車両周辺確認を補助する装置です。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

●映像が出ない、異物が入った、煙がでる、変な臭いがしたときは、ただちに使用を中止しお買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。

●カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

●画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。

●運転操作時は、必ず後方や周辺の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

●外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。

特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

●カメラ・サブロクシステムを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周辺の安全を直接確認しながら運転してください。

●画面に映し出されている映像と実際の状況は異なる事があります。また、カメラの映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。必ず目視やインナーミラー・ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意したうえで運転してください。

●実際の状況を合成するためコンマ秒ずれることがあり、必ずしもリアルタイムに表示したもので

ケガの原因になります。車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。

はありません。

●自動車以外に使わないでください。思わぬトラブルが発生する可能性があります。

配線・取り付けに関して⚠

●説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。カメラ本体以外は水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。

●コードをシートレールに挟んだり突起部に当たったりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

●カメラ本体は、車幅・車の前後から大きくはみ出ない場所に取り付けてください。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因になります。

●コード類の配線は高温部・可動部を避けて行い、しっかり固定してください。高温部に接触してコードの被覆が溶けたり、可動部品による咬み込みによりショートや断線が起こり火災・感電の原因になります。

●付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。

●本製品は車両信号を取り出して動作する仕様のため、本説明書指定の取付方法・取付位置に正しく取り付けなかった場合、車両の走行・動作に支障をきたす恐れがあります。間違えないように確実に取り付けてください。

●取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。また、取り付け場所を移す場合や取り付け車両を変更する場合もお買い上げ店に依頼してください。

●サブロクシステムで表示されるものは撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、サブロクシステム

特性を十分理解したうえで使用してください。

●サブプロクシステムの映像には、映像合成処理領

●サブプロクシステムの映像には、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部の映像は表示されません。車両付近には死角があり、サブプロクシステムには表示されない領域があります。周囲の状況によっては前後のカメラ画像の明るさ色味が異なる場合があります。

●サブプロクシステムは人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。(倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど)

●サブプロクシステムに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。

域が存在し、映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

取り扱い上のご注意 ⚠

●本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない画面ノイズや誤動作の原因になる場合があります。携帯電話や無線機は本機から離れてご使用になることをお勧めします。

●カメラ向きのズレ、カメラ取り付け台はがれの原因になりますので、カメラ、取り付け台に無理な力を加えないでください。またカメラ破損の恐れがありますので飛び石等にはご注意ください。

●本機は国内のみでお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

●レンズに雨滴や汚れが付着した場合、やわらかい布に水を含ませて拭いてください。カメラのレンズ部分取り付け台、コード類は変形や劣化をふせぐため薬品や磨き粉等を使用しないでください。

●自動洗車機や高圧洗車は行わないでください。カメラ外れやカメラコード損傷の原因になります。また、カメラ内部や車体内に水が入り込む恐れがあります。

●本機を夜間や悪天候時にご使用になるときは映像が見えにくくなると

きがあります。必ず目視にて車両周辺状況をご確認ください。

ご使用上のお願い

●画質について

次のようなときは画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。

- ・暗いところ。(夜間など)
- ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき・カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき(雨天時など)
- ・カメラ付近に異物(泥など)がついたとき
- ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

●定期的にねじのゆるみや、ブラケットがはがれていないことを確認してください。

- ・乗車人数、積載状況、ガソリン残量による車体の傾きや車高の変化などにより表示映像がずれる場合があります。
- ・車両アイコンと路面・障害物との位置関係は実際の位置と異なる場合があります。
- 映像割り込み表示にはリバーシ信号を使用します。サブロクシステム表示中はナビゲーションの現在地にズレが生じます。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。

●本製品の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・トラック・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象になりません。

●本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では異なる場合があります。

●サブロクシステムの画像はフロントカメラ / バックカメラ / 両サイドカメラから得られた映像を平坦な路面を基準に加工して表示しているため、以下のように表示されることがあります。

- ・立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える。
- ・路面より高い位置にある立体物が実際よりも遠くに見える、もしくは見えない。
- ・高さのあるものが合成のつぎ目から現れてくように見える場合がある。
- ・照度条件により、カメラごとの映像の明るさ色味にばらつきが出る場合があります。

保証について

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることを確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときはまず、この説明書をご覧ください。
- それでも調子が悪いとき 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店に、修理を依頼してください。
- 保障期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保障期間経過後修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり、壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

お問い合わせ窓口

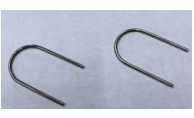
- 製品・修理に関するご相談は、お買い上げ店をご利用ください。
- 弊社に直接お問い合わせいただいてもご対応いたします。

取り付けと接続

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本機の実取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- 本機の実取り付けには車体に穴あけ加工をする場合があります。加工部防腐処理のためタッチアップペイント（市販品）が必要です。事前準備をしてください。
- 取り付けの前に製品を取り付けできるスペースがあるかご確認ください。
- 雨や霧の中では取り付け作業を行わないでください。
- 湿気の多いときは、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると接着力が低下してはがれる恐れがあります。
- 気温が低い環境や取り付け面の温度が低い場合は、接着力を上げるためにドライヤーなどで取り付け面を暖めてから取り付けてください。
- 取り付けから 24 時間以内は次のことは行わないでください。
 - ・ 雨に当てない。
 - ・ 水を掛けない。洗車をしない。
 - ・ 無理な力をかけない。

付属品一覧

	① メインユニット		② 赤外線リモコン
	③ 前後カメラ		④ 左右カメラ
	⑤ 電源ワイヤー		⑥ マスターワイヤー
	⑦ フロント映像ケーブル (4 M)		⑧ リア映像ケーブル (8 M)
	⑨ 左右映像ケーブル (各4 M)		⑩ サイドカメラ中継ケーブル
	⑪ 左右カメラスペーサー		⑫ 左右カメラ調節ピン
	⑬ ホールソー 24mm		

① メインユニット

② 赤外線リモコン

③ 前後カメラ

④ 左右カメラ

⑤ 電源ワイヤー

⑥ マスターワイヤー

⑦ フロント映像ケーブル

⑧ リア映像ケーブル

⑨ 左右映像ケーブル

⑩ サイドカメラ中継ケーブル

⑪ スペーサー

⑫ 左右カメラ調整ピン

各カメラ映像を集約し制御します。

操作用リモコン（電池 CR2032 使用）

フロントおよびリア側に使用するカメラです。

どちらを前後に使用しても問題ありません。

ドアミラー下部に穴を開けて使用するカメラです。

電源等を接続します。

常時電源：黄色 ACC 電源：赤色 アース線：黒色

映像入出力信号線および映像記録用 USB 接続します。

フロントカメラからの映像線を接続します。

リアカメラからの映像線を接続します。

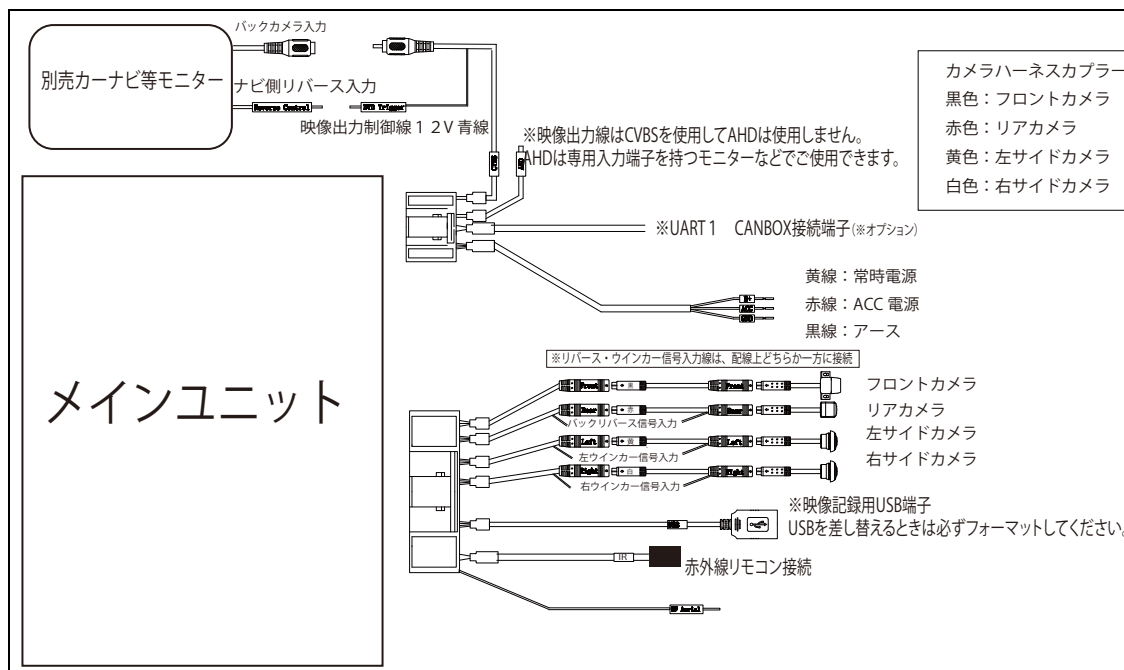
左右カメラからの映像線を接続します。

左右カメラ映像線をミラー本体からドア内に配線するために使用します。

左右カメラとミラーの間に入れます。

左右カメラの下側に差し込んで角度を調整します。

接続概略図



接続時注意箇所

- ① 映像出力先としてナビゲーションに接続する場合にはナビゲーションリバーズ入力線を本機のみと接続して、車両からのリバーズ出力線は接続しないでください。(本機にリバーズ信号およびウインカー信号が入力されると、本機リバーズ出力線から信号が出力される仕組みです。)
- ② HDMI・AHD 出力を行う場合は本体設定において映像出力先を切り替える必要があります。

リモコン使用方法

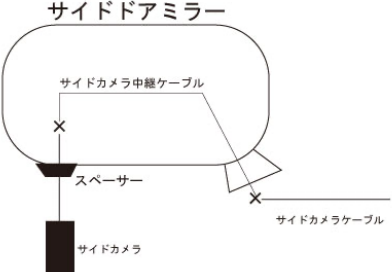


- ① **MENU**
メニューモードに移行します。
- ② **BACK**
メニュー画面において、ひとつ前の項目に戻ります。
- ③ **⇐↑⇒↓**
カーソルキー。選択項目の移行などに使用します。
- ④ **OK**
カーソルキーで選択した項目を選択します。

カメラ取付け概略

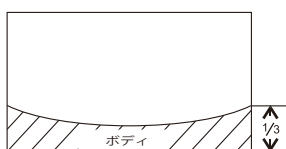
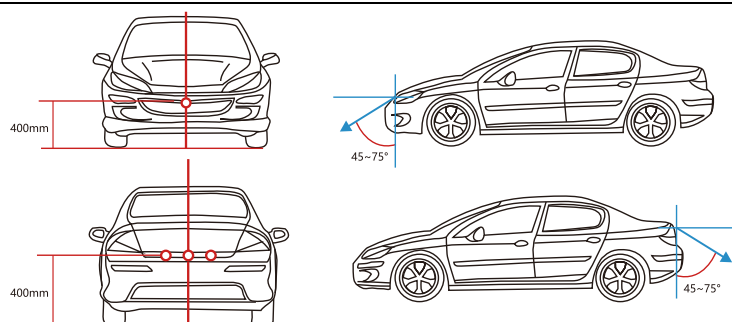
1、フロントカメラ	
	1、フロントグリルなどに、約 400mm 以上の高さを目安に取り付けます。カメラ本体の固定は付属のネジまたはボンド等でしっかりと固定してください。カメラ本体は出来る限り車体中央に取り付けてください。 フロントカメラのケーブルはエンジンルームに配線します。エンジンなどの熱の影響を受けにくい場所を選んで配線してください。
	2、取り付け後 映像確認画面で左右の高さは同じようにまっすぐ下側は地面が映りこむようにフロントカメラを取り付け調整します。ボディの映り込み目安は 1/3 程度を目安に調整してください。水平に取り付けできない場合、補正が出来ない可能性があります。 ※確認画面表示方法はキャリブレーション方法「3-4」の項目を参照してください。

2、リアカメラ	
	1、リアガーニッシュなど自動車後方部分で地面から 400mm 以上の高さに取り付けます。カメラ本体の固定は付属のネジまたはボンド等でしっかりと固定してください。カメラ本体は出来る限り車体中央に取り付けてください。 ナンバー灯などの明かりが直接当たらないように気をつけてください。
	2、取り付け後 映像確認画面で左右の高さは同じように水平に、映像下側はボディが映りこむようにリアカメラを取り付け調整します。ボディの映り込み目安は 1/3 程度を目安に調整してください。 水平に取り付けできない場合、補正が出来ない可能性があります。 ※確認画面表示方法はキャリブレーション方法「3-4」の項目を参照してください。

3、サイドカメラ	
	1、サイドカメラはサイドミラー内に付属のホールソーもしくは 24 パイのホールソーを使って穴あけ加工をしてサイドミラーに取り付けます。 ミラー内部のモーター等にカメラが当たらないように、またサイドミラーの動きに制限が出ないように注意しながら加工してください。
サイドドアミラー 	2、ドアミラーを分解して左図を参照しながら配線してください。 サイドカメラ中継ケーブルを車内に引き込む際には断線に気をつけてください。
	3、サイドカメラはドアミラーとの間に、ゴムスペーサーを使用してカメラ本体が真下を向くよう取り付けてください。 付属品②左右カメラ調節ピンをカメラ下部の穴に差し込んでカメラ本体を回します。 レンズボディの白マークが基準になっています。マークが車両の外側になるように取り付けます
	4、取り付け後 映像確認画面で前後のボディ映り込みが下側にまた地面にあるライン上において、映り込みが前後同じように左側から右側まで画面に対して水平になるように取り付けます。 ボディの映り込み目安は 1/3～1/4 程度を目安に調整してください。前後水平に映っていない場合は、補正が出来ない可能性があります。 ※確認画面表示方法はキャリブレーション方法「3－4」の項目を参照してください。

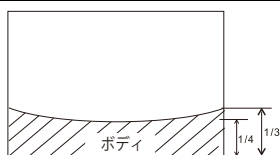
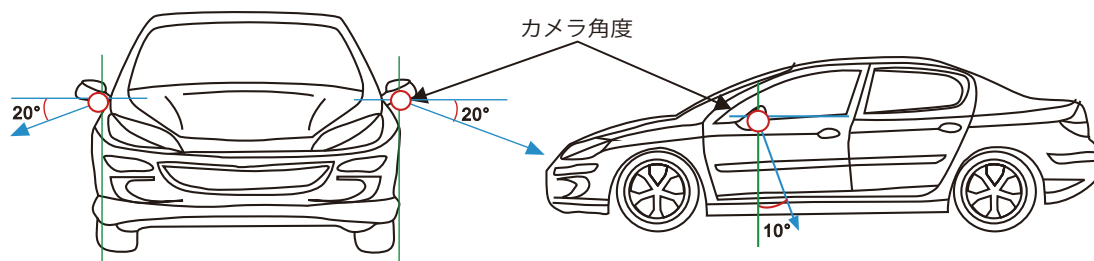
カメラ調整目安

フロントカメラ・リアカメラ



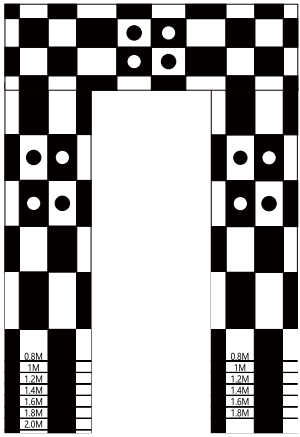
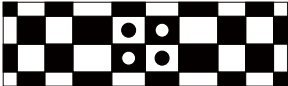
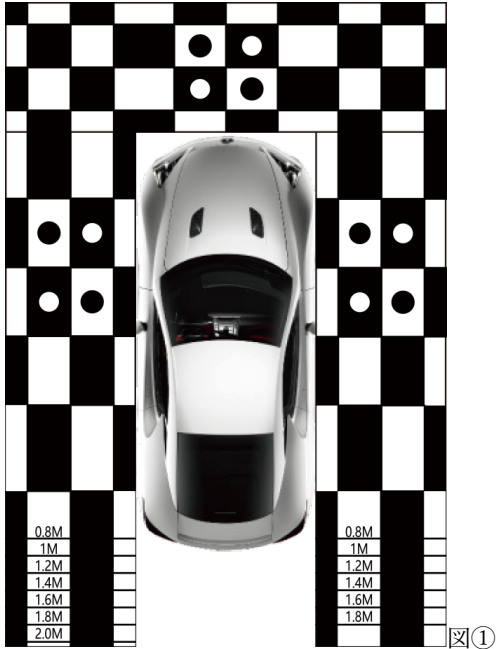
- ①固定式・可変式カメラにフロント・リアの決まりはありませんので取り付けしやすいカメラを選択してください。車両によってはステーを取り外しボンドなどで固定することもあります。
- ②カメラの設置高さの目安は 400mm 以上になります。カメラは車両センターからズレていても問題はありません。
(400mm が確保できない車両はキャリブレーションエラーや映像のズレの原因になる恐れがあります。)
- ③カメラ角度は 45° から 75° を目安に取り付け、最終は映像を見ながら微調整をします。

サイドカメラ



- ①付属 24mmホールソーで穴を開け下側からカメラを差し込みます。
- ②サイドカメラ下部に空いている穴に調整用ピンを差し込んで角度を斜め横 20° 後方 10° を目安に固定します。
- ③最終は映像を見ながら、イラストを参考に移りこむボディ左右端が下面と水平に真っ直ぐになるように調整します。

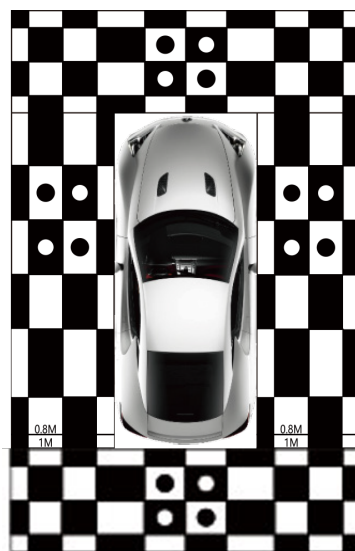
キャリブレーション方法※キャリブレーションマットが風に煽られやすいので2人以上でされることをお勧めします。

1、キャリブレーションクロス	
キャリブレーションマット A メートル表示されている方が車両後方です。	
キャリブレーションマット B	
2、キャリブレーションクロスの設置	
①キャリブレーションマット A を敷き、マット A の中心と車両の中心を合わせます。図①	

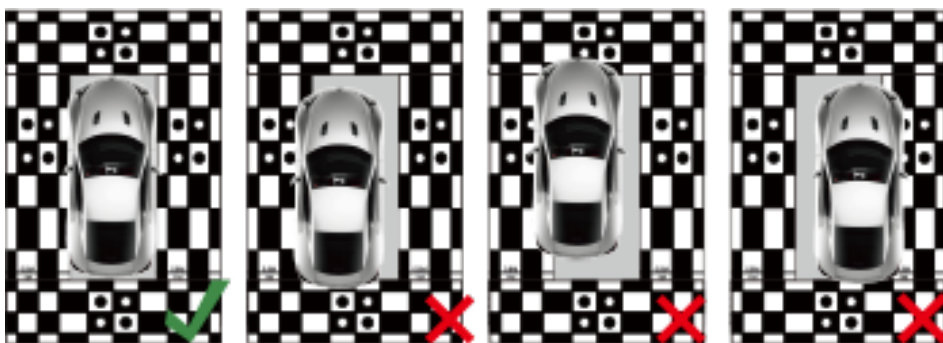
②後端に記載「メートル」ライン表示を参考に車両後端に合わせて、キャリブレーションマット B をキャリブレーションマット A の上に敷きます。

合わせたメートル表示位置は、キャリブレーション設定時に使用するので記録しておいてください。

(例：図②であれば 1.2M となります。)



図②



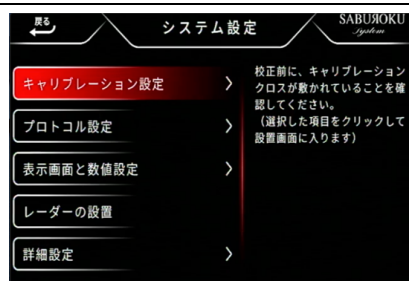
図③

注意：車両の両サイドとマットの隙間は必ず左右均一になる様に敷いてください。左右のタイヤとマットまでの距離を車両左右で合わせると中心に設定しやすいです。左右位置の歪みはキャリブレーション結果にそのまま反映されます。

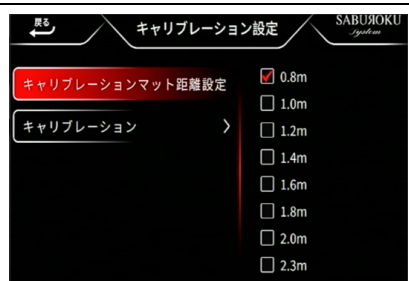
3、キャリブレーションの設定



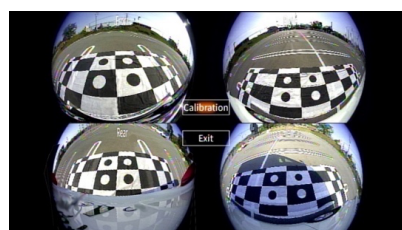
1、ファンクションメニューから「システム」を選択します。



2、「キャリブレーション設定」を選択します。



3、「キャリブレーションマット距離設定」を選択しマット A とマット B の重複部分に記載されているメートルを選択します。(上記図②であれば 1.2M を選択します。)



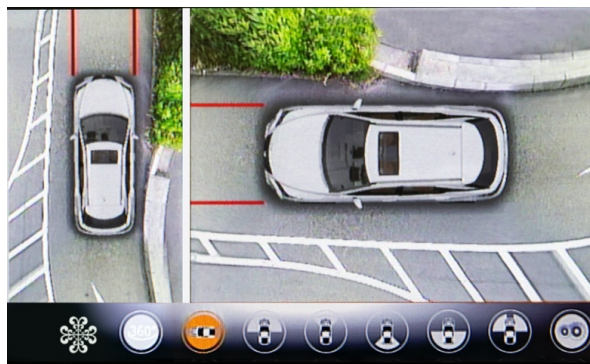
4、キャリブレーション設定に戻り「キャリブレーション」を選択すると各カメラの映像が表示されます。調整が終了したら「キャリブレーション」を選択してください。約 10 秒後に「success」と表示されたら成功です。

カメラ角度・方向は、この設定時の表示映像を参考に調整してください。

エラーが出た場合の対処方法

- 1、マットの一部がボディに隠れていませんか？
 - 2、車両ボディがカメラ映像に規定量以上が映り込んでいませんか？
 - 3、マットにシワができていない部分はありませんか？（カメラはマット全体を計測します。）
 - 4、前後カメラであれば車両左右方向、左右カメラであれば車両前後方向（特に後方）までシートがしっかりと映り込んでいますか？
 - 5、カメラに対して西日や蛍光灯の光などが直接入り込んでいませんか？明暗差が車両前後左右に存在するとキャリブレーションが出来ません。（ガレージなどで外光もエラーの原因になります。）
- エラー表示時には、どの場所のカメラ映像でエラーが出たのか画面上に表示されます。

表示画面



リモコン「OK」ボタンを押すと表示されます。

表示メニューアイコン

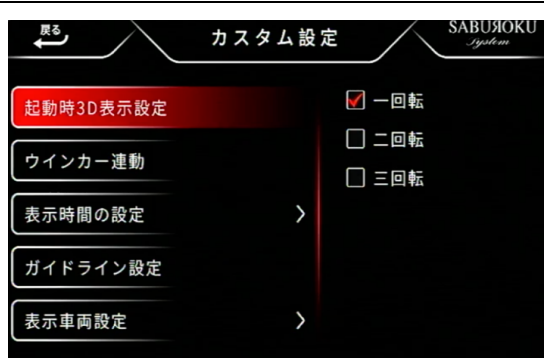
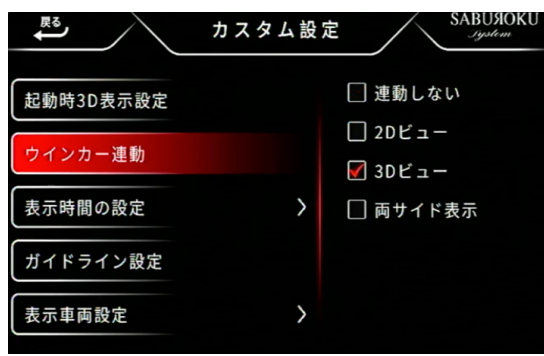
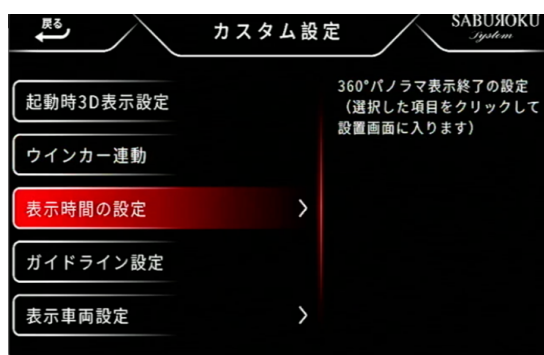


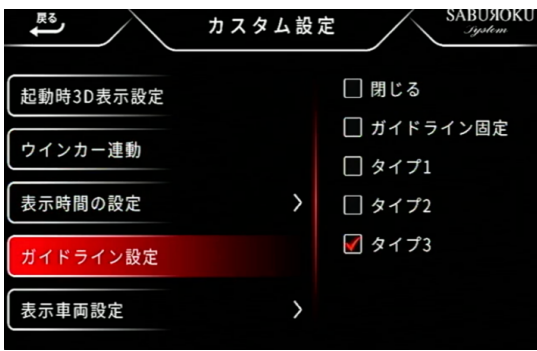
	カーソル選択時	OK ボタン選択時
① 3D アラウンドシステムモード	オート 3D ビュー	リモコン連動 マニュアル 3D ビュー
② 2D アラウンドシステムモード	上方視点での車両周辺表示	2D+3D 表示ビュー
③ フロントビューモード 1	フロントワイドビュー	フロントトップビュー
④ フロントビューモード 2	2D+フロントビュー	2D+フロント 3D ビュー
⑤ リアビューモード 1	2D+リアビュー	2D+リア 3D ビュー
⑥ リアビューモード 2	リアワイドビュー	リアトップビュー
⑦ サイドビューモード	2D+フロントサイドビュー	2D+サイドビュー
⑧ 設定	システム設定画面	

システムメニュー

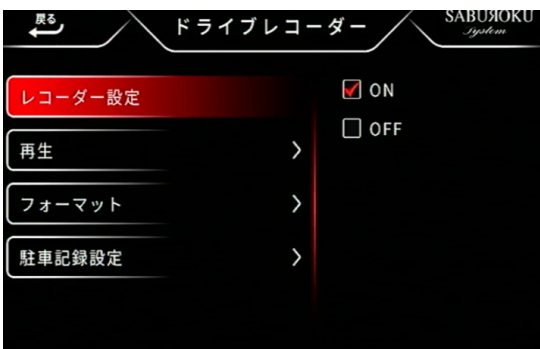
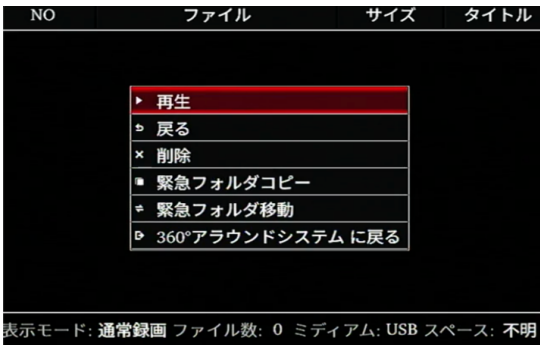
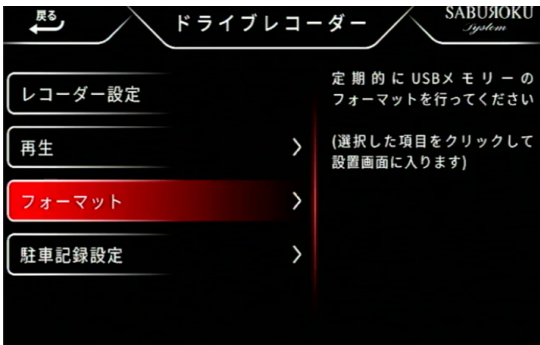
アラウンドシステム表示時  マーク選択でメニュー画面になります。

1、カスタム

起動時 3 D 表示設定		エンジン始動時に自動的に車両周辺を見渡す機能になります。
ウインカー連動		方向指示器点灯時の連動機能の設定になります。 連動しない… ウインカー連動機能 OFF 2 D ビュー… フロント両サイド周辺を表示 3 D ビュー… 車両後方より方向指示方向を表示 両サイド表示… フロント両サイド + 2 D 表示
表示時間の設定		車速設定… CANBOX (※オプション品) 接続時、設定速度以上ではラウンドビュー表示を行いません。 ウインカー連動 … ウインカー信号が終了してからの表示時間 バック連動… リバース信号が終了してからの表示時間 リモコン連動… リモコン信号受信時の表示時間 常時 ON は設定項目以外の信号が入力されるまで映像表示が続きます。

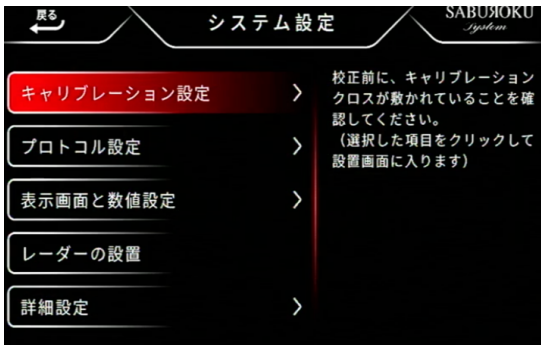
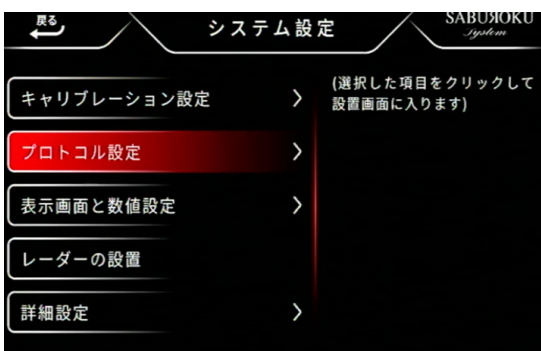
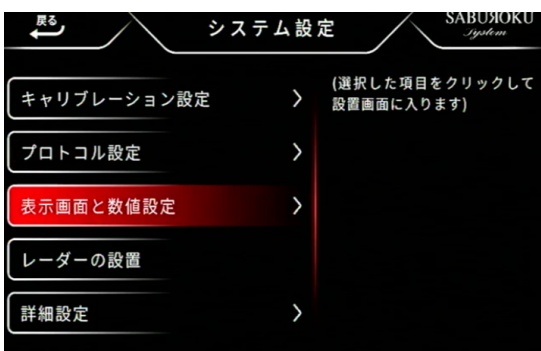
ガイドライン設定		ガイドラインのイラストを選択します。 閉じる… ガイドラインを表示しません ガイドライン固定… CANBOX（※オプション品）接続時、舵角連動ガイドライン機能を OFF にします。 タイプ 1～3… ガイドラインの表示デザインを選択できます。
表示車両設定		車両選択…アラウンドシステム表示車両のイラストデータを選択します。 車名をリモコンで選択してから、回転させて上下で選択をして「OK」を押すとシステムが再起動され選択した車両が表示されます。
		車体色…車両イラストのボディカラーを選択します。基本的なカラーだけではなく、詳細により、さらに細かく好きなボディカラーを作成することもできます。

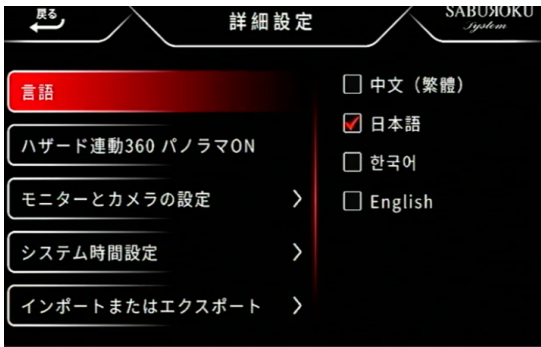
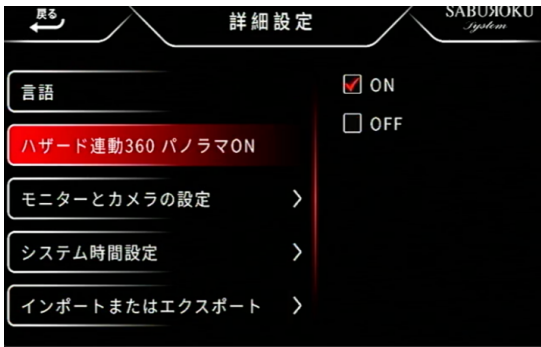
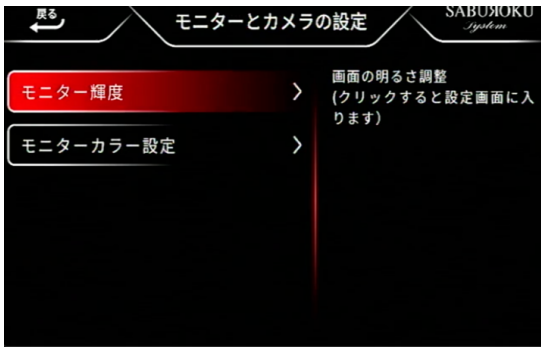
2、Recorder

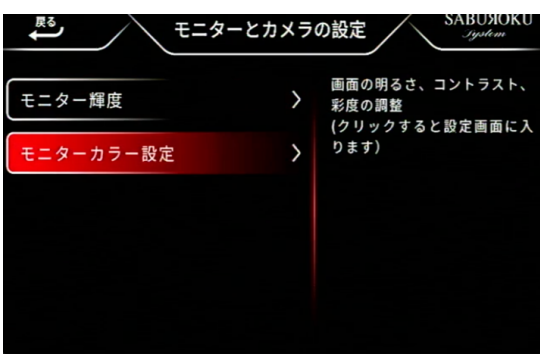
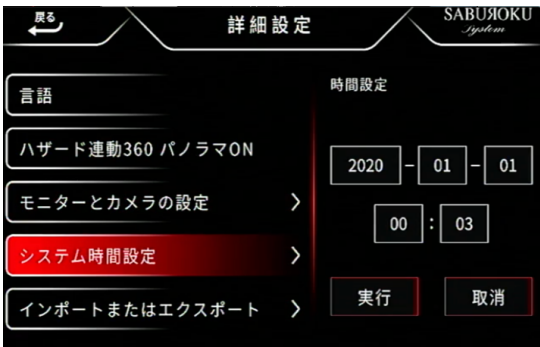
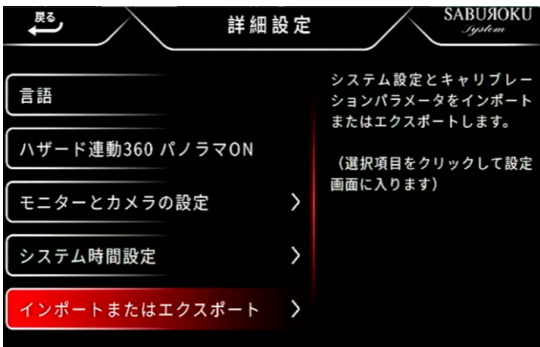
レコーダー設定		走行時に録画するかしないかを選択します。録画した映像はUSB（別売品）に保存されます。
再生		リモコンを回転させてデーターを選択して再生します。ファイル名は西暦月日秒の順番に記載されています。駐車監視中のデーターも同じファイルに保存されます。再生画像は合成映像ではなく4つのカメラで撮影されたそれぞれの映像になります。
フォーマット		USBメモリ内をフォーマットします。フォーマットすることによりUSBメモリ内の記録データーは全て消去され初期化されます。 正確な走行記録を行うために、初めてUSBを挿入した時および2-3週間ごとにフォーマットしてください。
駐車記録設定		録画設定 駐車監視にて録画するタイミングの設定 Once … 設定後、エンジンを切った1回のみ駐車監視を行います。 Long … 毎回駐車監視を行います。 Close … 駐車監視を行いません。 ※駐車監視機能は、バッテリー・記録媒体に負担がかかる場合があります。

		録画時間…エンジン停止後、駐車監視を行う時間を行う記録時間を設定します。 設定時間は2時間～24時間です。 注意：駐車監視モードはバッテリーへの負担が非常に大きいです。バッテリー上がりに注意しながら時間を設定してください。
		電圧観測設定…設定した電圧以下になると駐車監視モードを終了させます。 設定電圧を低くすると長時間記録できますがバッテリー上がりなどによりエンジン始動ができなくなる恐れがあります。 注意：駐車監視モードはバッテリーへの負担が非常に大きいです。バッテリー上がりに注意しながら電圧を設定してください。
		フレーム数…駐車監視モードでの撮影時に、1秒間に何回撮影するかを選択します。 例：1FPS＝1秒間に1度撮影します。 注意：駐車監視モードはバッテリーへの負担が非常に大きいです。バッテリー上がりに注意しながらフレームレートを設定してください。

3、System

キャリブレーション設定	 戻る システム設定 SABUOKU System キャリブレーション設定 > 校正前に、キャリブレーションクロスが敷かれていることを確認してください。 (選択した項目をクリックして設置画面に入ります) プロトコル設定 > 表示画面と数値設定 > レーダーの設置 > 詳細設定 >	キャリブレーション項目を参照してください。
プロトコル設定	 戻る システム設定 SABUOKU System キャリブレーション設定 > (選択した項目をクリックして設置画面に入ります) プロトコル設定 > 表示画面と数値設定 > レーダーの設置 > 詳細設定 >	拡張機能用設定項目 ※現在は使用できません。
表示時間と数値設定	 戻る システム設定 SABUOKU System キャリブレーション設定 > (選択した項目をクリックして設置画面に入ります) プロトコル設定 > 表示画面と数値設定 > レーダーの設置 > 詳細設定 >	モニターによって映像出力先を変更する場合に設定します。(HDMI モニターなど)
	 戻る ビデオ出力設定 SABUOKU System CVBS General NTSC AHD PAL TVI 注意：表示設定を有効にするには、[確認]ボタンを押してください [確認]ボタンは非表示の場合は開くには、リモコンまたはタッチスクリーンを5回以上タップしてください	CVBS (コンポジット RCA)、AHA、TVI、HDMI などを選択します。 選択後、リモコンを 5 回押してください。確認ボタンが表示されます。

		拡張機能 (2021/09 現在開発中)
詳細設定		言語…言語選択になります。
		ハザード連動 360 パノラマ ON ハザードを一回点滅すると、アラウンドシステムを表示/非表示します。 ON … ハザード連動を有効にする。 OFF … ハザード信号入力を無効にする
		モニターとカメラの設定 モニター輝度…画面全体の明るさを調節できます。

		モニターカラー設定…各カメラの画質を調整します。
システム時間設定		日時設定になります。バッテリーを交換した時や時間がズレた場合、設定してください。
インポートまたはエクスポート		システム設定を USB に保存、もしくは設定を呼び出します。

故障かなと思った時には。。。。

Q カメラの映像が出ない。

A イグニッションキーがON もしくはACC 以外の位置になっている。

正しくバックカメラ信号線など信号線が接続されていない。

カメラ配線のカプラーなどが奥までしっかりと刺さっていない。

Q 映像がチラついて見える

A LED信号やLED式蛍光灯などで照らされた場所を映した場合

画面がチラつくことがあります但故障ではありません。

また次の原因で映像が見にくくなりますが異常ではありません。

- ・ 暗い場所での映像
- ・ 部分的に明るいなど明暗のはっきりした場所
- ・ 雨天など天候不良によりレンズ視界を遮る場合
- ・ 異常な温度にさらされた場合

Q アラウンドシステムの映像が乱れて見える 。黒い墨のようなものが見える。

A 天候不良の際にはレンズに水滴が付きやすく映像が乱れて見えますが乾くと元に戻ります。また3D表示などで合成できない部分(カメラより高い空間など)は黒く表示されます。

また次の原因でも乱れる可能性があります但異常ではありません。販売店にご相談ください。

- ・ カメラの角度調節ねじが緩んでいる。
- ・ カメラ取付位置を変更した。
- ・ 車両の車高を変更した。
- ・ 取り付け時とは違い過度な荷物および人員を乗せている。

Q リモコンが動かない

A リモコンの電池残量はありますか？

リモコン電池を交換してください。電池はCR2032です。

Q 録画が出来ない

A パソコンでUSBメモリ完全フォーマットを行ってください。メーカー毎に新品の状態からウイルス対策等のソフトが入っていることがあります。

メディアは2週間から1ヶ月に一度定期的にフォーマットすることを強く推奨します。

